

◆経済倶楽部講演会第4408回（3月25日）

日本は先進国の地位から滑り落ちようとして している

一橋大学名誉教授 野口のぐち悠紀ゆき雄お

- *半世紀続いた先進国時代の終わり
- *今一度取り戻したい謙虚さ
- *賃上げに不可欠な付加価値額の上昇
- *日本経済の成長パターンが崩れた理由
- *円安安売り政策の失敗
- *70年代に逆戻りした実質実効為替レート
- *物価上昇で生活水準は確実に低下する
- *急がれる円安政策からの脱却
- *不可欠なデジタル化による生活の変革
- *G A M M A になれない日本はどうするか



柴生田 それでは開会いたします。（拍手）

本日は、一橋大学名誉教授の野口悠紀雄先生
においていただきました。1940年のお生まれ
で、東京大学工学部を卒業後、大蔵省に入ら
れ、その後、エール大学で博士号を取得され、
東京大学、一橋大学、早稲田大学と教授をされ
ました。

いろんな方面でご活躍をされてまいりました
が、今日はいちばんわれわれが気になっており
ます日本の凋落といえますか低迷の状況がどう
いうふうに生まれ、そしてわれわれは将来にど
ういう希望が持てるのか持てないのか、そのあ
たりをお話ししていただけたらと思います。
それでは野口先生、よろしくお願いいたしま
す。

半世紀続いた先進国時代の終わり

野口 皆さんこんにちは。（拍手）野口悠紀
雄です。座ったままで失礼します。本日は、経
済倶楽部講演会にご出席いただきありがとうございます。
経済倶楽部講演会でお話しできる機
会をいただきましたこと、たいへんうれしく思
っております。経済倶楽部の皆様方に御礼申し
上げたいと思います。

本日は、「日本は先進国の地位から滑り落ち
ようとしている」、このようなテーマで14時10
分までお話をいたします。その後、10分間ほど
皆様方からのご質問にお答えしたいと思います。
今日お話しいたします内容は、お手元にお配り
しております資料にはほぼ沿ってお話をいたしま
す。